

平成 21 年第 3 回定例会の開会にあたり、教育行政報告を申し上げます。

1 統合準備会の設置について

初めに、北広島団地内小学校の統合準備会の設置についてであります。北広島団地内小学校の統合については、平成 17 年度より検討を行い、4 校の廃止に伴い、新たに 2 校を開設することを平成 20 年 11 月に決定しております。このため、新しい学校の基本となります学校名、校歌・校章や通学路の安全対策などにつきまして、保護者・地域の方々や学校関係者による統合準備会を今月中に設置するとともに、ご意見をお聞きし、平成 24 年 4 月の開校に向け、新しい学校づくりの具体的な準備を進めてまいりたいと考えております。

2 市指定文化財の指定について

次に、文化財の指定についてであります。本年 8 月 21 日、北広島市文化財保護条例に基づき、バイソンの化石片 28 点及び大規模斜交層理、通称クロスラミナの転写標本の 2 点を市の文化財として初めて指定いたしました。

昭和 48 年に市内音江別川流域で発見されたバイソンの化石は、30 万年から 40 万年前のものと推定され、国内では北広島をはじめ 4 カ所の発見例があるのみで、学術的にも貴重な財産とされており、現在は東記念館収蔵庫に保管されております。

また、大規模斜交層理は、平成 14 年、中の沢で発見された地層で、現地から転写標本を採取し、中央公民館ロビーに展示しております。

この地層は、北広島に特に潮流の速い海峡が存在していたことなど、100 万年から 170 万年前の道央部の地質環境を推定する上で貴重な資料であることが評価されております。

このたび指定を行った 2 点の文化財を市の歴史遺産として永く保存するとともに、その有効活用を図ってまいります。

以上申し上げ、教育行政報告といたします。